

今、保険の義歯を どう作るか

—より良いものを、より効率よく—

著

村岡秀明

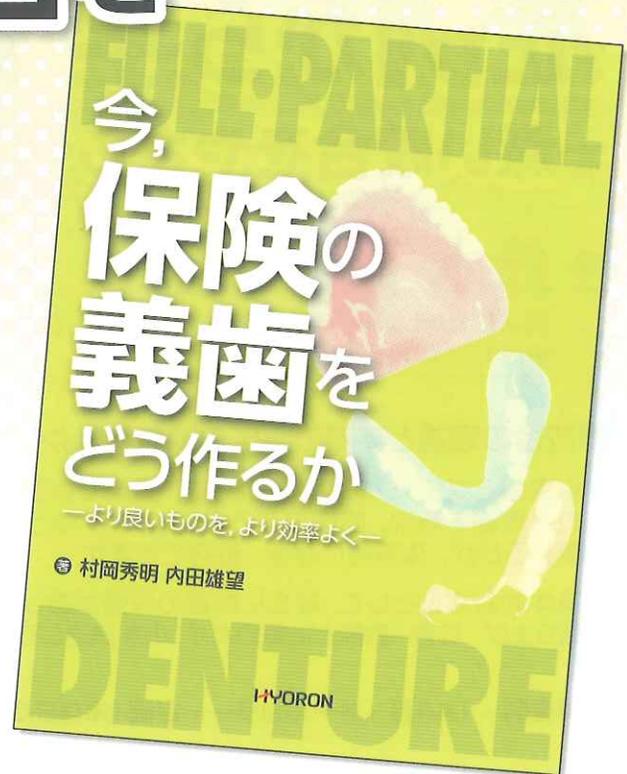
(千葉県市川市／むらおか歯科・矯正歯科クリニック)

内田雄望

(福岡県福岡市／歯科ウチダクリニック)

- 1996年以来20年にわたるロングセラー『保険の総義歯をどう作るか』に、「保険のパーシャルデンチャー」を加えた全面改訂新版。
- 不採算と言われる“保険の義歯”について、いかに効率よく、かつ良いものを作るかを考え、そのテクニックを提示。
- 読みやすい文章と多くの写真でわかりやすく解説。

■ A4変判・96頁・オールカラー・定価(本体7,000円+税)



ページ見本

24

■上下を別々に作っていく(旧歯がない場合)



図12-1 初診時、この状態で来院した。今まで義歯を入れた経験がない



図12-2 まず、歯という歯を塑造した。

(1) 上下を別々に作っていく

旧歯面の状態がよいければ、下顎旧歯面に基して上顎新義歯を作り、その上顎新義歯に適合するように下顎新義歯を作るのが一番簡単で確実な方法なのですが、咬合平面に問題があったり人工歯の歯肉の排列位置に問題があると、その問題点を新義歯にも写してしまいます。そこで、それを修正しながら上下を別々に作るという“作りやすさ”を取り入れた方法が、以下に述べる作り方です(図12)。私は旧歯面があればコピースデンチャーを利用するので、私がこの上下別々に作るという方法を採用するのは、患者さんが旧歯面を持っていない場合です。

- 1日目 上下顎アルジネート印象を採得する。
咬床の逆縁をリバーブ用レジックで形修整し、假床を安定させる。
上顎前歯の咬合平面を唇唇遠程に平行にする。
上顎前歯6本をチェアサイドで排列する。
シリコーン印象材で上顎のウォッシュ印象を採得する。
(技工室で上顎旧歯部を排列する)
- 3日目 下顎の旧歯部の厚みを上顎の旧歯部の厚みと同じにして咬合採得する。
下顎の逆縁形を整え、シリコーン印象を採得する。
(咬合器に付着して下顎を排列するが、そのときに上顎旧歯部の歯肉の排列位置や咬合平面を修正する)
- 4日目 ワックスデンチャーの試着。
- 5日目 完成した上下総義歯を装着する。

1 保険の義歯をどう作るか—私の知るすべて 作り方 27



図12-22 中切歯が抜ければ、歯はそれぞれに決定されるが、中切歯だけとは同じがつかぬ。

図12-23 3つともを口内で歯根形別して位置を決定する。

図12-24 患者さんにも確認してもらおう。



図12-25 ウォッシュ印象は、一番フローのよいシリコーン印象材を使用する。



図12-26 上顎のみ印象採得する。



図12-27 上顎印象採得。



図12-28 歯縁と外形、前歯の咬合、咬合平面の設定が終わっている。



図12-29 次回までに、旧歯部を排列しておく。旧歯の唇肉位置はおまかせでよい。



図12-30 上顎模型も出来上がっている。

症例から学ぶ咬合論

—深い咬合をやさしく学ぶ—

著 鈴木 尚

東京都・ナオ歯科クリニック／日本顎咬合学会指導医／
明海大学歯学部臨床教授

■咬合の理論と実際の臨床の関わりがよくわかる!

- ・総義歯とブリッジの製作を通して、臨床で必要とされる咬合理論を解説。臨床のどの場面で、どのように咬合に関わるかが、体系的に理解・習得できます。
- ・具体的対応例として、咬合に問題の原因があった症例を取り上げ、診査・診断と治療のポイントを詳述しています。

■A4変判・144頁・オールカラー・定価(本体8,000円+税)

Dr.鈴木 尚の臨床Advice

症例から学ぶ咬合論

—深い咬合をやさしく学ぶ—

著 鈴木 尚



HYORON

ページ見本

44

9 Go-A 描記と咬合器への応用とその手順

まず、描記されたGo-Aの図形上に、描記装置に付属するプラスチック製の円板を貼ります。そして、矢印状に描かれた経路上にあるラウンドバーを回ります。ホールはアベックスの中心と左右側方運動路上(アベックスから約5mmの位置)に一直線の計三点になります。

Check! アベックスから約5mm
生体の下顎窩は前方へも側方へも曲面構造になっています。しかし咬合器では直線になっていて、正確な下顎窩の運動を再現することはできません。このため咬合装置から下顎窩が離れすぎて、あるいは近すぎる距離でも記録が不安定になって、顎窩向の認定にバラツキの出るおそれがあることから、下顎を前方あるいは側方へ5mmほど動かしたところ上下顎前歯や犬歯の切縁がぶつかるくらいで記録を採るのがよいとされています。また臨床的にみて、重要な咬合の範囲もこの5mmの中に含まれている、という意味もあるので(図7)。

Check! 顎窩向
下顎が前方運動、側方運動する時、下顎窩は下顎窩に沿った角度で動きます。この角度を顎窩角といいます。

■下顎前方運動路一下顎窩と咬合器の問題部



図7 下顎前方運動路も矢状面で見ると、下顎窩の形態に沿って彎曲しているが、運動の初期はほぼ直線である。運動が終ると大切なのは咬み合わせが起きる直前の5mmほどの記録である。



図8 図7の解説を咬合器に応用して使用している。70アーチ咬合器の矢状顎窩調節部も平面である。

第3章 咬合を理解するために実際の臨床例を参照しよう 45

Go-A 描記と咬合器への応用手順①:ピンホルルの形成



図-58 上顎の描記板の上に描かれたGo-Aの図形。

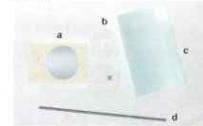


図-59 描かれたGo-Aを保護するためのパーツ。a:保護シート、b:プラスチック板、c:両面テープ、d:固定用のコード。



図-60 まず保護シートを貼り、その上にプラスチック板を貼る。



図-61 アベックスと左右側方運動路の上に、ラウンドバーに2にてピンホルルを印す。



図-62 アベックス部分と左右の運動路上に印されたピンホルル。



図-63 アベックス部のピンホルルに記入することを確認しておく。



図-64 同様に右側方側方運動路のピンホルルへの記入も確認する。



図-65 同じく左側方側方運動路のピンホルルへの記入も確認する。